



イースト チャレンジキャンプ

『次世代に伝える事』

昨年もたれた TPKF 単ペン第 50 回記念大会の中、永井師のメッセージの中で詩篇 71：18 が引用され、「次世代に伝える事は自身の苦労話ではなく、主によって導かれたその人生の中で神がどのように働かれたかである。」と言われていたことが今も思い出されます。

もちろん、語り伝える諸先輩方にも大きな責任が委ねられているのですが、私はこの事を思うとき、聞く側である次世代の責任も同時に感じました。

私たちのように若い世代は、その時代に合った何か“新しい方法”や“今までになかったもの”をどこかで模索しがちです。でも『なぜそうするのか』という本質を間違えれば、キリスト者としてとんでもない間違いを犯してしまう可能性もあるように感じます。

『私は知った。神のなさることはみな永遠に変わらないことを。それに何かをつけ加えることも、それから何かを取り去ることもできない。神がこのことをされたのだ。人は神を恐れなければならない。(伝道者の書 3：14)』

特に主の為の働きに関してですが、多くのキリスト者がこのキリストの福音を全世代を含む“この世”に伝えるためにはどうすれば良いだろうかと日々主に求め、御霊に耳を傾けている事と思います。

しかし、私のような若い者は時折、信仰の先輩方の話を聞くときに「昔はその方法で良かったかもしれないが、今は時代が違う。」と聞き流してしまっていて、以前の私自身、その話の中に現されていたはずの生きて働かれた主の姿を見ようとはしていなかった事もあったように思います。これは非常に愚かで高慢なことでした。

確かに、時代によって福音宣教のアプローチは形を変えていくでしょう。しかし、私たち次世代は、主にある諸先輩方の証を通して、確かに働かれた神をしっかり Focus し、全世代にわたって変わらない働きを成される神をしっかり見続け、遜り、諸先輩より渡されたキリストの福音と宣教のバトンを受け取ることが大切なのではと思われています。(ブンキョーゴスペルセンター 川内 悟)

「バトンの引き継ぎ」

2010年4月、牧師であり父である札幌斉師から牧会のバトンを引き継ぎました。それから毎年「牧会とは？」を学んでいます。伝道師の期間10年のおかげで、斉師とのあらゆる違いを確認、「神様への愛」「救霊の情熱」「救いの喜び」など同じスピリットも確認、「父のような牧師にはなれない、私らしく牧会をさせていただこう」「神様が私をお用い下さる」と、気負わずに喜んで引き継ぎをすることができました。

「引き継いだバトンは、どんなものだったのか？」色々と思いをめぐらしました。大きく2つのバトンを受け取りました。1つは「牧会の務め」です。難しく考えることが苦手な私は、とにかく「イエス様のように愛すること赦すこと仕えること」「御言葉に生きること」「福音のために救霊のために生きること」を兄弟姉妹と共有する、聖霊の油注ぎを受けて歩む、膝をついて祈る、いつも喜びと楽しみの中に過ごすことを心がけました。父はいつも聖霊に満たされ、講壇の前にひざまずいては叫びと涙をもって祈っていました。母は絶えず、朗らかさの中に賛美しつつ過ごしていました。気付けば、そんな両親からのバトンが私の牧会を支えています。そして私らしく毎年、兄弟姉妹お一人お一人と面談の時を持ち関係作り

をしています。今も牧会を学びながら、目の前のお一人お一人、一つ一つに忠実であるようにと願っています。2つ目のバトンは「教会」です。既成教会での引き継ぎには、この影響が大きいと



思います。引き継がれた時、教会は高齢化し次世代作りが急がれました。年々多くの子ども学生が遊びに来るようになり福音の種が蒔かれてきました。次の課題は彼らの救いと育成です。教会は、その器を柔らかくされ次世代を迎える準備を整えています。神様は私に「今、あなたの教会に合わせられた兄弟姉妹はベストメンバーだ」と語られました。高齢の信者は今、熟練した信仰と祈りで教会を支え、また牧師をよく理解し支えて下さっています。全てにおいて神様のご準備が万全になされ、更なる前進へと向かっています。

「神にはどんなことでもできます。マタイ19章26節」を告白しつつ、2つのバトンとあふれる上よりの祝福を喜びつつ、今年も歩ませていただきます。全ての栄光を主に返しします。
(敦賀自由キリスト教会 札幌 緑)

TPKF 「東日本支援特集」 震災から3年目、現地からの報告

2011年3月11日に発生した東日本大震災の直後から、TPKFの教会の皆様からこれまで多くのお祈りとご支援をいただきましたこと、心より感謝いたします。皆様のあたたかい愛に押し出されるようにして、私たち被災地の教会はその歩みを進めています。

さて、2014年3月11日(火)、被災地各地で3回目の追悼礼拝が持たれました。仙台地区においてもこの3年を振り返るとともに、これからの復興、そして、支援の歩みを考える時となりました。メディアでも度々報道されているとおり、復興ははじまったばかりと思います。仮設住宅にはまだまだ多くの被災者がとどまらざるを得ない状況が続いています、阪神・淡路大震災時同様、これからが支援の最も重要な時期になるのではないかと思います。

私たち教会では、大震災後、その開催を始めた時から関わりのある仙台ゴスペル・フェスティバル実行委員会(この数年間、筆者が実行委員長を務める)のメンバーを中心に、NPO法人を設立、被災地支援をこのNPOや他団体と協力しながら継続しています。

活動の主なもの、仮設住宅でのカフェ(お茶やコーヒー

を飲みながら、傾聴やカウンセリングなどを実施)やイベント(特に子育て支援)、また、大震災からの年から雄勝中学校や小学校での放課後支援などを行なっています。今後もこれらの支援は継続するため、関係団体と協議、計画を進めています。

また、この大災害は大きな悲しみを生んだ出来事ではありましたが、これまでもまして教派、教団を超えた教会間の協力が進んでいます。それぞれが与えられている神からの賜物を分かち合い、具体的な伝道、教会開拓の働きが始まっています。

被災地の多くには教会がありません。従来の教会開拓ではない、ハウスチャーチなどさまざまな取り組みが始められ、これからの日本宣教にヒントになる働きへと発展することを願っております。ぜひこれらの働きのためにお祈りください。

後記：皆様のご支援によって、東北中央教会・拡大宣教学院の施設の半分が修復を終えました。残る三棟の建物の修復も今年度中の修復を目指して進めています。

(東北中央教会 牧師/拡大宣教学院 学院長 永井信義)

TPKF 諸教会の恵み

《イースト》

昨年末に父である牧師の両手が震えて止まらなくなり、大好きなコーヒーは両手でカップを持ち飲むほどでした。何もしていないときも勝手に両手が左官屋さんの様に動き、治らないので医者に診てもらいましたが、年寄りの病気の診断でした。礼拝で、日々の生活の中で、牧師会で、関東ブッシング集会で癒しのために祈り、祈って頂きました。その後、ある日曜日の礼拝の前に牧師の手が震えていないことが私の目に留まったのです。本人の知らないうちに震えが止まっており癒されていました。

私、教会では数年前に牧師夫人が脳梗塞になり言語障害・右半身の麻痺があり、その癒しのために祈り続けています。麻痺は良くなってきてリハビリ先では脳梗塞になった方の中では十分良くなっていますと言われるのですが、私たちが求めているのは主による完全な癒しで、求め続けて祈っている中でおきた牧師の瞬時の癒しでした。このことによりそれぞれの信仰を強められました。

(大和あがないの丘キリスト教会 荒井恵子)

《FCMF》

福井自由キリスト教会の今！

私たち福井自由キリスト教会では、毎週朝9時から子供たちの礼拝を持っています。中高生クラスは現在多い時で10人程のメンバーが集まり、毎回御言葉の一節から神様の恵みを学んでいます。多くはこの教会で生まれ育ったクリスチャンホームのメンバーですが、ノンクリスチャン家庭の友達や新しく教会に加わったメンバーも共に、自由な雰囲気の中で楽しく学んでいます。昨年10月には、クリスチャン音楽グループの「ナイトDEライト」に刺激を受けた有志たちが、「三国DE御国」と名付けたバンドを結成しました。みな楽器未経験の初心者でしたが、毎週礼拝後に練習を重ねて実力をつけ、すでにオリジナル曲も数曲出来上がっています。この数年で受洗者や礼拝奉仕者も起こされました。彼らの成長している姿は私たちの喜びであり、教会の宝です。これからも主に期待しつつ、教会全体の使命として彼らを支えて参ります。(福井自由キリスト教会 鶴岡大)



《キリスト福音》

私たちの現会堂は33年も住み慣れた場所から、2005年に移転し、なんと感謝なことに300坪の敷地に一部3階建て



の建物が与えられました。駐車場も広くなりました。

新会堂が完成して間もなくして、礼拝後の食事を始めました。一食300円の昼食は今では20～30人が利用してくれています。教会の数人の姉妹たちが土曜日の午後食事の準備に来てくれます。定番のメニューというのではなく、食材によって色々変わります。近所の方からドサッと野菜をいただくこともあれば、魚市場へ買い出しにも行き、ひと箱30匹くらい入りの鯛やカレイを買い、尾頭つきで食卓に出ます(ひと箱2,000円までですが、魚の料理が大変)。こうして、会堂の一部が食卓にかわり、時には外部からお招きする講師の先生も一緒に食べてもらいます。その先生



を通して、第2部礼拝になることもあります。昼食のひとときが兄弟姉妹の良い交わりするときになっていることを感謝します。

謝します。

(小浜キリスト福音教会 岡部光雄)

編集長のデスクより

東日本被災地ですが、福島放射能汚染は深刻な問題です。3月のDRCnet(東日本大震災救援キリスト者連絡会)に出席しました。岩手、宮城、福島でネットワークを立ち上げ、今日まで労して来られた各団体の関係する先生方が集まりました。被災から3年経ち、現状報告、DRCnetに期待すること等が、各グループごとに分かれてなされました。福島のテーブルに行きましたが、震災はまだ終わっていない、むしろこれからだ、という印象でした。現地の教会の先生方は、今も一生懸命仮設住宅を回り、人々の声に耳を傾け、寄り添う働きを継続しておられます。ボランティアの縮小、各団体の撤退、現地の教会の人的経済的資源の限界を考えると、どうしたらいいのか考えこんでしまいました。飢餓対策機構の方から、一般のNPO法人の組織の中に入り、その中で協力して証していく方法もあるのではないだろうか、という意見がありました。教会ですることの限界を感じました。そして、放射能問題については、良い除染方法が見つかるように、政府の迅速な対応ができるように祈るべきだなと思われました。TPKFの被災地支援口座は継続しています。(中見 透)

TPKF 全国各地の情報・報告

<イースト> 「チャレンジキャンプ」

今年も主の恵みの中、多くの祈りに支えられ「チャレンジキャンプ」が行われました。今回はテーマ聖句としてローマ 12:1～2 が与えられ、



キャッチフレーズは「祈るなっしー！聖霊ぶしゃー！」。講師の小山健先生をお迎えし、ともに御言葉のうちに燃やされました。初日には、ホセア書から罪深い私たちと、命がけで再び買い戻してくださった神様の愛に目が開かれました。さらに世の嵐の中、つい神様から目がそれ、溺れそうになった時「助けて！」と祈る事を学び、最終日には聖霊様によって“心の一新によって自分を変える”ため一人ひとりが祈りの中、決意を新たにしました。集会中には聖霊様が豊かに触れてくださり、私も含め多くの友が祈りのなか涙しました。またユースらしく楽しいピザコンやレク、さらに姉妹方お手製の美味しい食事の時と、すべてが祝福のうちにあったことを心から感謝します。引き続き、ユースのためにお祈りいただけると幸いです。(鶴見純福音教会 上迫みどり)

<FCMF> 「岐阜純福音教会ユース春キャンプ」



3月21、22日に岐阜純福音教会を主催・会場、ゲストに川内悟師(文京ゴスペルセンター)をお招きし、ユースキャンプを開きました。参加する若者達が人生の道の中で、進学・就職・結婚を控えていることから、テーマを「道」としました。

「神様はあなたを愛しています。あなたは神様を愛していますか？神様の愛にどう応えますか？」メッセージの中で、繰り返し参加者に問いかけられました。神様の愛への応答として、人生の「道」において、主を愛すること、御言葉に聞き従うこと、主に信頼することが教えられました。

北陸から参加して下さった方々も含め、35人の参加者一人ひとりが主の前に出て祈り、主の愛に感謝し、新しい決断をしました。救われる方も起こされました。

時間的には短いキャンプでしたが、3度の集会、屋外でのレクリエーション、分科会、深い交わりがあり、聖霊様の豊かな臨在がある、濃厚なキャンプとなりました。主に栄光！

(小山 健)

<キリスト福音> 「びわこ1・2・3キャンプ」

3月26日～4月5日フィンランド学校において、びわこ123キャンプが行われました。



このキャンプは、東日本大震災による原発事故で放射能汚染された地域の子どもたちを滋賀県に招き、保養を目的として毎年春・夏・冬に開催されており、今回初めてフィンランド学校が会場となりました。

子どもたちとスタッフ・ボランティア合わせて80人～90人が参加した今回のキャンプでは、思う存分外遊びを満喫し、安全で健康的な食事、また地元の方たちとの交流を兼ねた様々なプログラムがありました。

その中で、守山キリスト福音教会員のシェフがバイキングの夕食をふるまって下さり、その夜には福島県在住のゴスペルシンガーソングライター・横山大輔さんのゴスペルライブが持たれ、たくさんの方々にイエス様の愛を伝えることができました。またフィンランド学校でやりたい！というたくさんの声も聞くことができ、わたしたち家族もとても恵まれた10日間でした。



(フィンランド学校 レフトサーリ麻衣)

<関西聖書学院>

2013年度の卒業式は例年より1週間遅れの3月13日(木)に行われました。卒業生11名、1、2年修了生15名、そしてCPC(開拓伝道者養成コース)の第一期生7名と合計33名の派遣でした。



2回に分けても壇上一杯になってしまう卒・修了生の多さ。跪き祈られる彼らに主はどれほど期待をかけておられることでしょうか。按手して祈る先生方と会場の皆様方の思いがひとつとなり、濃厚な臨在でした。3学期は2-4週間の特別研修が組まれ、全学年が場所を海外に移しての学びでした。インドネシアやシンガポールで目覚ましい前進を遂げているGBI教会の招待によるものでした。枝葉の表現では違和感を覚える学生もありましたが、主の臨在と聖霊の満たしを熱心に求め、十字架の福音を一人でも多くの未信者、異教徒へ届けたい、御国の豊かな栄光の現れを期待する真実な方々との交わりに大いに刺激を受けたことでした。新年度の主に期待して前進します。ハレルヤ。(大田裕作)

2014年単立ペンテコステ大会講師、フィンランドが生んだ神の器
マルコ・セルコマー師の本、邦訳完成間近!!



「超自然への道」 ダイナミックな聖霊の働き

定価：700円(税込)

発行：単立ペンテコステ教会フェローシップ

TPKF 三役からの提言 —TPKF代表者会議の議事録から—

1. 今年の滋賀県で開かれる TPKF 大会にフィンランドのマルコ・セルコマー氏が主講師として来られます。彼の著書「超自然への道」が6月ごろ出版されます。彼の生き生きとした主との出会いのあかしが記されていて、読む者に聖霊の臨在が迫ってきます。
2. ノルウエー (PYM) とのパートナーシップ契約がなされることになりました。フィンランド (Fida) に引き続きのパートナーシップ契約です。かつては受けるばかりでしたが、パートナーとして世界宣教に携われるのは感謝です。
3. ペンテコステ誌がホームページに載るようになり、カラーで鮮明に読めると好評です。
4. 2012年の大会で分かち合われた TPKF の10年後の展望とビジョンが図式化され、意見が交わされました。次世代シンクタンクが提案され、今年中に動き出す予定です。
5. 東日本被災地への支援
福島ホーププロジェクトの県外子供キャンプ (木田恵嗣先生) 50万円、FUKUSHIMA いのちの水のペットボトル配布 (奥山実先生) 50万円、拡大宣教学院3棟の土台修理 (永井信義先生) 100万円、びわこ☆1・2・3 (ワンツースリー) キャンプ (原発事故による放射能汚染地域からの保養子どもキャンプ) の企画に40万円の援助。
6. 2015年度 TPKF 全国大会は F C M F が担当されます。場所、テーマ、講師は次回の代表者会議で検討されます。

<開所式>

2月23日午後2時より、岐阜ライフチャーチの開所式が執り行われました。礼拝室14畳に17名が出席。以前から開拓の思いが与えられていた大塚夫妻に、2010年春の合同聖会で、御言葉が与えられたことによります。



<報告：超教派>

NRA：今年の2月の評議員会で新役員が選出されました。
委員長 小山大三師、副委員長 中見透師、書記 永井信義師、
会計 菅原亘師、事務局長 大久保みどり師。NRAは今後も祈りのムーブメントを促進します。

6月6-7日エンパワード21アジア大会が香港で開催。
参加希望者はNRA事務局までお問い合わせください。

TEL 06-4398-0083

※2015年5月エンパワード21世界大会がイスラエルで開催されます。今から準備していきましょう！

<単ペン大会2014 Information>

第51回単立ペンテコステ教会フェローシップ大会を開催いたします。世界で活躍しておられる、いやしと奇跡の器マルコ・セルコマー師をお迎えいたします。特別な3日間となるでしょう。ぜひ、ご参加ください！

(大会実行委員長 置田信也)

同時開催 聖会！ ユース！ キッズ！
【単ペンキッズ】イロイロ？なプログラムが待っているよ！
【単ペンユース】楽しい！面白い！はもちろんのこと、家族や友達、自分たちが置かれている地域を主の下へ勝ち取るため、共に祈り、主を賛美し、御言葉を聞き、励まし合う、濃厚な3日間を一緒に過ごしましょう！

第51回単立ペンテコステ教会フェローシップ大会プログラム

8月19日(火)			20日(水)			21日(木)		
			7:30	朝食		7:30	朝食	
			8:30	祈り会 導き：芳三容子師	ユース ↓	8:30	祈り会 導き：小山大三師	ユース ↓
			9:45			9:45		
			10:00	聖会3 司会：川内 悟師 講師：マルコ・セルコマー師		10:00	聖会5 司会：中坊久行師 特別賛美：イッピー（キッズ） 講師：マルコ・セルコマー師	
			12:00	記念写真（全体） 昼食		12:00	昼食	
13:00	受付開始 ↓		14:00	全体集会 ↓	ユース ↓			
15:00	オープニング聖会 司会：置田信也師 講師：マルコ・セルコマー師	ユース ↓ キッズ ↓	15:00	分科会 ↓				
17:00	夕食		17:00	夕食				
18:30	聖会2 司会：上田勇矢師 講師：マルコ・セルコマー師		18:30	聖会4 司会：小山英児師 講師：マルコ・セルコマー師				キッズ ↓
21:00			21:00					

単立ペンテコステ教会諸教会（名簿順）

北広島自由キリスト教会 / 房総中央キリスト教会 / 大佐和キリスト教会 / 町田純福音教会 / 鶴見純福音教会 / 横浜フィラデルフィヤ教会
磯子フィラデルフィヤ教会 / 金沢フィラデルフィヤ教会 / 横須賀クリスチャンセンター / 保土ヶ谷純福音教会 神の愛チャペル
大和あがないの丘キリスト教会 / 戸塚カルバリ純福音教会 / 栄シャローム福音教会 / 伊勢原聖書キリスト教会 / 秦野クリスチャンセンター
北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音センター / 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会 / 甲府カルバリ純福音教会
富士吉田純福音キリスト教会 / ハーベスト・チャーチ山梨 / 裾野純福音キリスト教会 / 御殿場純福音キリスト教会
富士純福音キリスト教会グレースチャーチ / 小松ベタニヤ福音教会 / 小松南部キリスト教会 / ホープハウス / 福井自由キリスト教会
文教ゴスペルセンター / 松岡福音教会 / 丸岡福音キリスト教会 / 勝山自由キリスト教会 / 三国自由キリスト教会 / 敦賀自由キリスト教会
武生自由キリスト教会 / 金津福音キリスト教会 / 小浜キリスト福音教会 / 小浜キリスト福音教会三方伝道所 / 高富グレースチャペル
岐阜純福音教会 / 岐阜純福音白鳥教会 / 岐阜純福音大森チャーチ / 大垣インターナショナル・フルゴスペルチャーチ / 岐阜ライフチャーチ
美濃グレースチャーチ / 岐阜中央チャペル / 本地が原自由キリスト教会 / 瀬戸サレム教会 / 滋賀キリスト福音教会 / 守山キリスト福音教会
大津韓国福音教会 / 大津キリスト福音教会 / 田上キリスト教会（大津キリスト福音教会伝道所） / 甲賀キリスト福音教会 / 水口キリスト福音教会
甲西キリスト福音教会 / 雲井キリスト福音教会 / 米原キリスト福音教会 / 綾部キリスト福音教会 / 亀岡ベタニヤ教会 / 京都キリスト福音教会
山科キリスト福音教会 / 深草キリスト福音教会 / 宇治キリストペンテコステ教会 / 木幡キリスト福音教会 / 大阪キリスト福音教会
須磨自由キリスト教会 / 神戸フィラデルフィヤ教会 / 南さつまキリスト福音教会

以上の教会に1部以上を送っています。私たちの願いはすべてのTPKFの信徒が一部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。tpkf.pentecost@gmail.com

TPKFの公式ホームページ <http://www.tpkf.org/>